



国際交流員の活動日誌

vol.76



ペットを含め大切なご家族が安全にドッグ・デイズを過ごせるように気を付けましょう！

(ララ)

「ドッグ・デイズ」 Dog Days of Summer

英訳版を見る▶



毎年7月上旬から8月中旬頃まで、北半球では夏の気温が最も高くなる期間です。この期間は「ドッグ・デイズ」と呼ばれています。どうしてそう呼ばれるのかわかりますか？暑すぎて日陰でも犬がぐえいしてしまうから、という説もありますが、星座のおおいぬ座の中で最も明るく輝く星「シリウス」に由来するそうです。シリウスは「ドッグ・スター」とも呼ばれ、この期間、太陽とともに昇り、沈むように見えるので、古代ローマ人は、この2つの星が一緒にあった熱で、気温が耐えられない程高くなったと信じた

ことからそう呼ばれるようになりました。

7月の最高気温が平均40℃のラス・ベガスに住んでいる私の兄は、車の中でブラウニーを焼いたこともありまして。「歩道で卵が焼けるほど暑い」という表現もあるくらいです。ほとんどの皆さんは外に行くと靴を履くので気にしないかもしれませんが、晴れている24℃の日でも、アスファルトの表面温度は52℃を超えることがあります。裸足で走り回る子どもや、飼い主が良かれと思って散歩させたペットがこの温度にさらされると、ひどいやけどを負う可能性があります。熱中症対策をしながら、

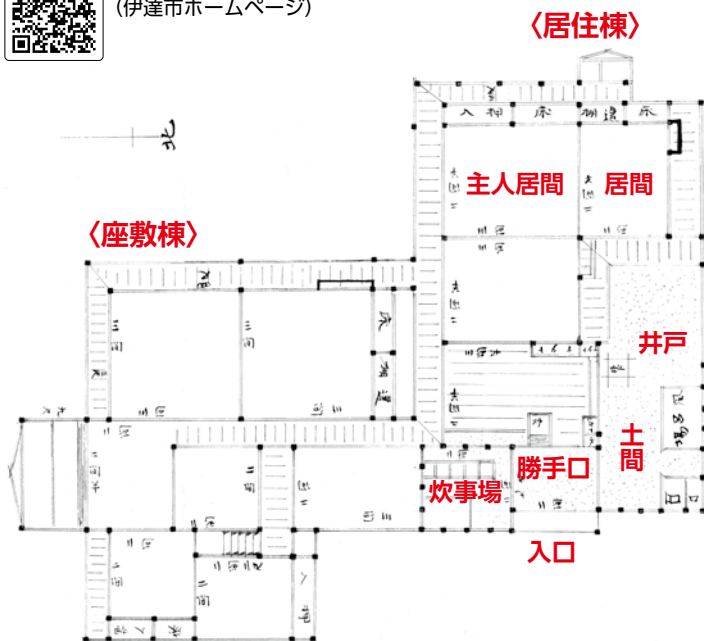
地域の魅力 ふる里再発見

もんじょ 文書資料からわかる 亀岡家住宅 2

令和5年度第1回企画展
亀岡正元家文書の世界
9/25(月)まで
伊達市保原歴史文化資料館



◀現在の図面を見る
(伊達市ホームページ)



建物平面図(伊達市保原歴史文化資料館所蔵)

保原歴史文化資料館では、企画展「亀岡正元家文書の世界」を開催中です。今回紹介するのは一枚の平面図です。表題も、書いた日付もありませんが、この図は旧亀岡家住宅の「居住棟」の間取りによく似ており、亀岡家建築のために書かれたものかもしれません。これに対して「座敷棟」は似ておらず、この後に間取りを変えたようです。

また、「座敷棟」の実物を見ると、江川三郎八の設計の特色である「筋交い」が、外壁の窓枠上部に確認されます。これにより、旧亀岡家住宅の建築は、「居住棟」より開始し、のちに江川が設計した「座敷棟」の建築につながったと考えられます。

いまだ謎が多い旧亀岡家住宅、この図を手掛かりに謎に挑戦してみませんか。

※主に明治時代に活躍した建築技師で
江川式擬洋風建築が有名